令和４年度主任相談支援専門員養成研修　事前課題

【地域援助の具体的展開Ⅰ】

　地域生活支援拠点等については、第６期障害福祉計画の成果目標として、令和５年度末までに各市町村又は各圏域に１つ以上の地域生活支援拠点等を確保しつつ、その機能の充実のため、年１回以上運用状況を検証及び検討することを基本とするとしています。受講者の活動する市区町村の、「整備後の課題やその解決に向けた取り組み」（整備されていない場合は、「整備に向けた取り組みの状況」や「課題となっていること」）について、下記項目も参考の上、記載して下さい。

受講番号：　　　　　　　　　　　氏名：

１　地域生活支援拠点等（の整備）について、地域全体でその目的を共有している。

２　地域生活支援拠点等（の整備）における現状と課題を整理している。

（１）地域のストレングスの整理（含　インフォーマルな資源・住民のネットワーク）

（２）個別支援を通した課題の整理・障害児者のニーズの整理

（３）機能別アセスメントによる整理

①　相談機能　②　緊急時の受け入れ・対応の機能　③　体験の機会・場の機能　④　専門的人材の確保・養成の機能　⑤　地域の体制づくりの機能

（３）関係者のヒアリングによる整理

（４）協議会を活用した議論の整理

（５）運営（整備）方針や数値目標の整理

３　地域生活支援拠点等（の整備）において、各機関が重層的、相補的な連携体制を構築している。

４　地域生活支援拠点等（の整備）を推進するため、協議会に専門部会やプロジェクトチームを組織して、具体的取組みを検討するとともに、その検証を行っている。

５　地域生活支援拠点等（の整備）を推進するうえで、行政や関係機関の組織責任者のリーダーシップがある。

６　地域生活支援拠点等（の整備）を推進するための計画（達成目標、戦略、スケジュール等）がある。

令和４年度主任相談支援専門員養成研修　事前課題

【地域援助の具体的展開Ⅱ】

現在、支援を展開しているケースから2事例を選定し、事例毎の地域課題を３つ以上抽出して下さい。

受講番号：　　　　　　　　　　　氏名：

|  |  |
| --- | --- |
| 事例（例） | 年齢：46　　性別：女　　障害名：精神　　手帳：1級　　障害支援区分：４利用福祉サービス：自立生活援助事例概要：幻覚妄想活発（両親に対する被害妄想もある）　対人関係が苦手でひきこもりがち　両親が亡くなったら単身になるので、孤独感や不安が強い　治療に対しては拒否的だがなんとか服薬はできている　お菓子作り、料理、編み物が得意ニーズ：自分を助けてくれる人がほしい　自分ができることで人に喜んでもらいたい　　　　障害のある人ばかりが集まる場所には行きたくない※その他、必要と思われる事項 |
| 地域課題 | 1. 定期的に誰でも参加できる40～50歳代の女子会をしている場所がない
2. 手編みの小物をつくるワークショップができるような場所がない
3. 家族と距離を置くための精神障害でも使えるショートステイがない
 |
| 事例１ | 年齢：　　　性別：　　　障害名：　　　　手帳：　　　　障害支援区分：利用福祉サービス：事例概要：ニーズ：　　　　　※その他、必要と思われる事項 |
| 地域課題 |  |
| 事例２ | 年齢：　　　性別：　　　障害名：　　　　手帳：　　　　障害支援区分：利用福祉サービス：事例概要：ニーズ：　　　　　※その他、必要と思われる事項 |
| 地域課題 | ② |

研修当日、ご自身用に１部印刷してご持参ください。